

テーマ

NPOにおけるボランティアの 運営参加の姿とは？

適用
分野

NPOのボランティアとの協働
／自治体の市民参加施策の設計
／問題解決型学習



研究
名称

NPOにおけるボランティアの活動環境に関する
研究

氏名
所属

岡村こず恵 特任准教授
全学共通教育センター

内容

●特徴

18年間、民間の非営利組織で働きながら、ボランティア活動の推進やNPO（民間非営利団体）の起業支援やコンサルテーション、企業のCSRや社会貢献活動の企画運営等に携わってきました。その経験から、組織運営にいかに関係者が参加できるか、自治体の市民参加施策をいかに設計するか、企業・行政・NPOがwin-winな関係を築きながら、いかに社会的課題を解決できるか、などの課題に取り組んできました。また、全国の災害支援関係者と連携しながら、大学生による災害時のボランティア活動の推進にも関わっています。

現在大学では、企業・行政・NPOと連携しながら、具体的な地域課題について学生とともにフィールドワークに取り組み、課題解決のための企画立案に取り組むPBL（問題解決型学習）を実践しています（図1）。



図1：和歌山電鐵貴志川線の利用促進に関するフィールドワーク

●研究内容

NPOにおいて、専門職スタッフだけでなく、ボランティアが団体の市民参加を促進する存在として、いかにかかわることができるのか、ボランティアの社会化はどのように促進されるのか、また、そのためのNPOの役割とは何かについて、文献調査やフィールドワーク、インタビュー調査などに取り組みながら、研究しています。

NPOは、当該分野における専門性を追求するあまり、その問題に関心のある人々を活動に巻き込んだり、関心層を広げるといって関心が薄れているのではないかという問題関心があります。しかし、行政や企業セクターと効果的に連携したり、必要に応じて、時には対峙したりするためには、市民セクターのすそ野を広げ、人々の関心を高めることが不可欠です。

働いたり、地域の活動に参加したり、選挙に行くのと同様に、できる範囲で、自分の関心のあるテーマのNPOでボランティア活動に参加する。そんな生活スタイルが当たり前になれば、「あなたは、社会の“歯車”では決してなく、この社会にかけがえのない大切な存在である」という「生」の実感を得られるような日常を作っていけると信じています。

キーワード

ボランティア、市民参加、NPO、コーディネーション、災害ソーシャルワーク、地域連携

連携方法

■ 講演 ■ 研修 □ 研究相談 □ 学術調査 □ コメント □ 共同研究